

した。

皆様方の前に、今や、この世界は何を求めているか。人間は一体何を求めているか。この大問題があります。もし、ここで一歩誤ると、人類は全滅するだろうというような不吉な噂が、堂々と世界に流れ取ります。この時に、人類の危機を救う。こういうことは大きい仕事であります。この仕事にみんな取り組みねばならない。この仕事は、百姓するよりも、大工をするよりも、政治をするよりも、何よりも大切な「人類救済」という大問題であります。

私はこの小学校を出まして、それから今日まで、この問題に取り組んでおります。

皆様も、もうやぐ世界人類の広い問題に目をあけて、貴方がたの方針を決めて下さい。

では今日、これで失礼致します。

南無妙法蓮華経

## 日本仏教僧伽 ワシントン道場 開堂供養之辞

日本仏教沙門 藤井 日達

本日、アメリカ合衆国の首都華盛頓市に、日本仏教僧伽の道場開堂の式典を挙げるに当たり、ネパール王国大使閣下・タイ王国大使閣下・ベンガラ・デシヤ大使閣下・スリランカ共和国大使館・印度大使館・ガボン大使館・英国大使館等から、大使代理の諸氏が御参詣下されまして、甚だ光栄に存じます。特に、スリランカの大使館の甚深なる外護が無かつたならば、日本仏教の基礎を華盛頓に据えることは不可能でありました。スリランカの毘波羅僧伽は、多年の間、日本の比丘の生活を保護し、その信仰・修行・布教に自由を与えて下さいました。

日本仏教僧伽の華盛頓に於いて今日の式典を挙げることを得たる所以は、偏にスリランカの大使館及びその仏教僧伽の外護に由るものであります。

ここに謹んで感謝の意を表し奉ります。

釈迦牟尼世尊は、二千五百有餘年の往昔、現代のネパールの藍毘尼苑に降誕せられました。父を淨飯王と号し、當時摩揭陀国の大王でありました。母を摩耶と名づけ、世尊の幼名を悉達多と号けられました。た。

悉達多降誕の日に、三十四の不思議の吉祥瑞相が現れました。

其の中に、毘舍佉星が下って人間に現れ、太子の生まれ給える所に待す。又八方の諸仙、人師は宝を奉じて來たつて太子に献る。又毒虫は隱伏し惡鬼は善心を起す。又諸の惡律儀・殺生・偷盜等、一時に止んで慈悲となり、又三千大千世界に悲嘆の聲が無くなつた等の瑞相が、普曜經等に説かれてあります。イエスのベツレヘムの誕生の時の瑞相と似たる所もあります。

此の如き瑞相の中に太子は誕生し給うや、自ら東西南北に各々七步宛歩行して、其の右手は天を指し、其の左手は地を指して、

「天上天下に、唯だ我独り尊し。三界は皆苦なり。我此を度脱せん」と獅子吼されました。

此の四句一偈は釈尊が一代の間に、其の身を用いて実証されました。

妙法蓮華經譬喻品に曰く、

「今此三界は皆是我が有なり」

其の中の衆生は悉是我子也

而も今此の處は諸の患難多し

唯我一人のみ能く救護を為す」

妙法蓮華經は釈尊一代五十年の説法教化の中、最後八カ年間、終窮究竟の極説として説かれました。

藍毘尼苑降誕の時の獅子吼を再演し、完結せられるものであります。

此の三界とは、天上天下、諸の所有る生物の存在する處にして、其等の生活は種々の苦患の中に悩み

悲しんで、然も其の苦患のはてしがありません。殺生も、偷盜も、欺瞞も、生きるも、病むも、老も、死も、

苦患ならざるものはありません。此の苦患を逃れ出でんとして探し求めたるものが人間の宗教であります。

す。人間以外の動物や、人間の中にも、其の各自の生活の苦患を自覺せざる者には、宗教は有りませぬ。

妙法蓮華經如來壽命品に曰く、

「衆生劫尽きて大火に焼かると見る時も、我が此の土は安穩にして天人常に充滿せり」此の經文は、

廿世紀の現代、科学兵器に由る、一切諸の生物全滅の危機到來を預言してあります。一切衆生、生物全

体が、遂に地上に生存することが出来なくなる時、其の災害の主要なる物を大火に焼かると説かれて

あります。原水爆を中心とする、爆彈火薬を濫用する戦争行為であります。併ら此の危機は、避けないと

欲すれば避け得る災害にて、断然此の災害を避けしめ、必定して人間の滅亡を救護する事を約束された

るものが、法華經の明文にして、正に教主釈尊の今生出世の本懷を演べられたものであります。

日蓮大聖人の如來滅後五百歲始觀心本尊鈔に曰く、

「法師品に云く、況や滅度の後をや」

「善量品に云く、今留めて此に在く」

「分別功德品に云く、惡世末法の時」

「藥王品に云く、後の五百歲、閻浮提に於て広宣流布せん」

「涅槃經に云く、譬へば七子有らんに、父母平等ならざるに非ざれども、病める者に於て心則ち偏に

重きが如し」等云々

已前の明鏡を以て仏意を推知するに、仏の出世は靈山八年の諸人の為にも非ず、正像末の人の為也。

又正像二千年の人の為にも非ず、末法の始め予が如き者の為也。「然も病める者に於て」とは、滅

後の法華經誹謗の者を指す也。「今留めて此に在く」とは、「此の好き色香ある薬に於て美からず

と謂ふ者也」乃至、此の時地湧の菩薩始めて世に出現して、但だ、妙法蓮華經の五字を以て幼稚に

服せしむ。「誘るに因て惡道に墮つるも必ず益を得るに因る」とは是也。「我が弟子之を惟へ」

之を要するに、釈迦牟尼世尊の此の世に出現遊ばざれし本意は、科学兵器に由る人間の全滅戰、科学

産業に由る自然の大破壊の災害から、人間の生命を救ひ、自然の環境を護らんが為であります。

一代五十年の説法も、法華經の八十年の説法も、仏滅度後二千五百年間に、世界各国に、仏教が利益

を施して国土を安穩ならしめ、社会を歡喜に満たしめたのも、それらの地理歴史は、皆悉く挙げて現代

の恐怖惡世の大火難・大苦惱を救はんが為の予備的試験に過ぎなかつたのであります。

如來在世五十年、如來滅後二千五百年、印度十六大國乃至世界各國の人々の苦惱病患は、尚輕症であ

り、尚局部的であつた。然るに現代則ち法惡世の患難は、全滅的にして一人も逃ることは許されな

い。總体的にして海も山も崩壊し、草も木も枯れ果てて、濁り汚れざるものは有りません。是の救済の

為に、如來の大慈悲は、一言の要法、南無妙法蓮華經の五字七字の文字となし、言葉となして留め置か

れました。

ヨハネ伝による福音書第二章

「一、初に言があつた、言は神と共にあつた、言は神であつた。

一、此の言は、初に神と共にあつた。

三、すべての物は是に由てできた、できた物の中、一つとして是によらない物は無かつた。

四、此の言に命が有つた、そして此の命は人の光であつた。

五、光はやみの中に輝いている、そしてやみは之に勝たなかつた。」

此の言は人の命であり、此の言は人生の光明であります。言の秘密を能く説いたものはヨハネ伝であ

ります。

妙法蓮華經如来神力品に曰く、

「要を以て之を言はば

如来の一切の所有の法

如来の一切の自在の神力

如来の一切の秘要の藏

如来の一切の甚深の事

皆此の經に於て宣示顯説す」

如来の衆生救済の神通力、如来の浄土建立の秘要の藏は、但だ是の南無妙法蓮華經の五字七字の中に

結び籠められてあります。此の南無妙法蓮華經の一言は、法華經に「是の好き良薬を今留めて、此に在

く」と説かれて、「汝等取て服すべし、差しと憂ふる事勿れ」と勧められてあります。

日蓮大聖人の如説修行鈔に曰く、

「天下万民、諸乘一仏乘と成て、妙法独り繁昌せん時、万民一同に南無妙法蓮華經と唱へ奉らば、吹

く風枝を鳴らさず、雨壊を碎かず、代は義農の世となりて今生には不祥の災難を払ひ長生の衆を得、

人法共に不老不死の理り顯れん時を各々御覽せよ、現世安穩の証文疑ひ有る可からざるもの也。」

## 日蓮宗管長への御礼状

南無妙法蓮華經

去六月六日、御供養に預りました。忝存します。

さても先般は、宗門の北米開教六十年記念行事として、管長宛下を北米に歓迎することを得て、北米

開教も一層の光彩を放ちました事を随喜致します。北米合衆国は、現在世界の危機を作り、自国に反逆

難を萌しつつあります。立正安國の宗教弘通の必要を深く感じます。

日本山の二門も、合衆国の首都華盛頓に去六月五日法華經の道場を開設し、八カ国の大使館より参詣

の中に大法要を挙行致しました。毎日ホワイト・ハウスに御祈念に往きつつあります。北米の平和運動

者と連絡して、我此土安穩天人常充滿の經文を実現致します。去六日、管長宛下御光来被下まして

一門の僧俗深く感謝し奉りました。管長宛下御無事に御帰朝の御事と存じます。拙子も去十五日、漸く

羽田へ到着致しました。又七月上旬には佐渡一ノ谷の宝塔落慶供養に参ります。此の外、佐渡にも宝塔

湧現の瑞相が有ります。高祖大聖人の御靈場莊嚴の菩薩行であります。先ずは取敢ず御礼迄申し上げます。

金子日威宛下

恐々

熱海 六月十八日 日蓮